

のばこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：古川 美帆

2023年1月 第34号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

新年あけましておめでとうございます

のばこども家庭支援センターは今年で開所10年という節目の年を迎えることとなりました。これまでの間、地域の皆さま並びに関係機関の皆さまには大変お世話になりました。改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後も、地域に根差した相談機関そして何でも気軽に相談できるような身近な相談先として、安心して「のばこども家庭支援センターに相談したい・つなぎたい」と思ってもらえるように努力してまいりたいと思います。何より、ご縁をいただいたこどもたちの笑顔がわたしたちの支えとなっています。

当初の目標（平成31年度中）よりは時間がかかりましたが、ようやく横浜市内の18区全てに児童家庭支援センターが整備されました。各児家センの持ち味を活かしながらも市内の児家センが足並みをそろえて支援に取り組めるようにと話し合いを続けているところです。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

のばこども地域交流事業

粘土でメモスタンドを作りました！

12/10(土)に親子ふれあい遊びイベント「粘土でかわいいメモスタンドをつくろう」を開催しました。クリスマスらしいデコレーションをしたり、好きな虫やキャラクターを作ってみたりと、完成品はどれも可愛くオリジナリティーの溢れるものばかりでした。

工作の後にはチェロの演奏と絵本の朗読をボランティアの方にお願しました。クリスマスにちなみ曲とお話で癒しの時間を過ごしていただきました。

最後にはサンタの登場！サンタからのプレゼントほしい？の声掛けに「ほしいー♡」と大きな声で答えるこどもたち。可愛かったです。



想 感 考 望

のばこども職員の
ひとりごと…

12月くらいからどんどん寒くなってきました…。毎年この時期になると、いつも以上に甘いものを食べたくなり、身体は動かさないため、お腹周りがとても気になり始めます。そのため、今年は11月頃から「ダラダラしないで動くぞ！」と意気込み、トレーニング室の利用を始めました。飽きっぽい私は、3日坊主にならないか心配でしたが、都度払いで費用も安く、行かなければならないという負担がないため、見事に1か月以上続けることができています。3~4日に1度は通えていて、継続できていることが最近のちょっとした喜びです(*'ω'*)

のばこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

12月は地域イベントの粘土工作があったため、子育て短期支援事業を利用している子どもたちが見本となる粘土制作づくりを手伝ってくれました。あるお子さんは、緑と白と薄いピンクの色をみて、三色団子を作ってくれて、とても素敵でした。色から発想力を上げられる力は素晴らしいですね！また、最近、YouTubeで病気の治療アニメを見ている子がいました。海外の作品で、アニメでも想像すると痛々しさが伝わってくる動画でしたが、子どもたちは興味深々で観ていました。画面から目を離して「こわいー泣」と言いながらもその場から離れずに見続ける姿は、とても一生懸命で可愛らしかったです。



のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092

絵本の紹介

子どもを守る言葉『同意』って何？
YES,NOは自分が決める！

作・絵：レイチェル・ブライアン
訳：中井はるの
出版社：集英社



人それぞれがもつ「いいよ」と「イヤだ」を分ける「境界線」の感覚や、それを相手に伝えること、相手の境界線を尊重することなど、子どもたちが安全で心地よい人間関係を築いていくためのヒントが描かれています。

大人にとっても、自分の経験や言動を振り返って考える機会になり、学びの多い1冊になると思います。

◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）
受付時間：9時～17時

